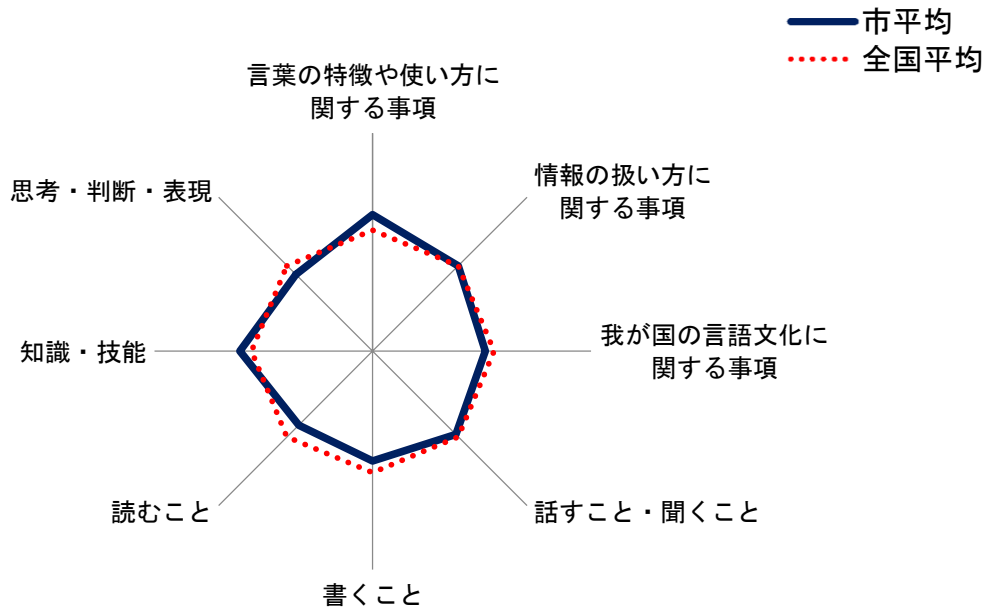
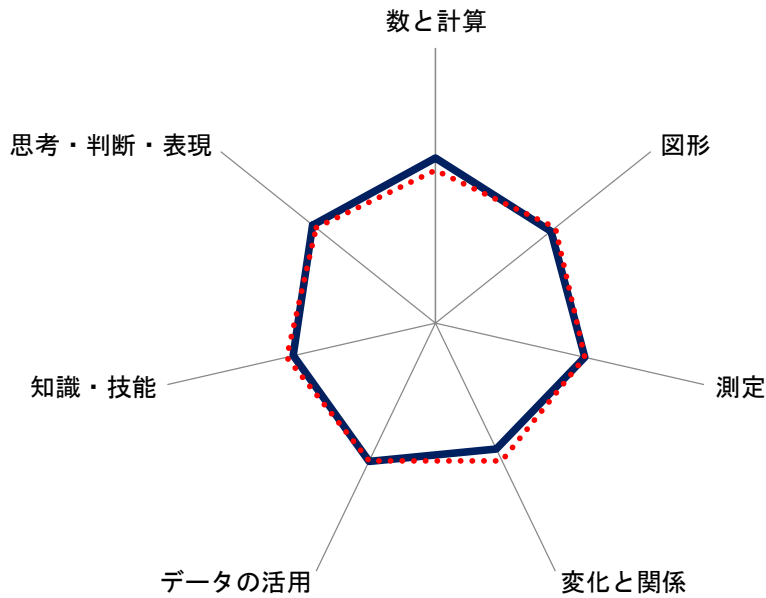


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

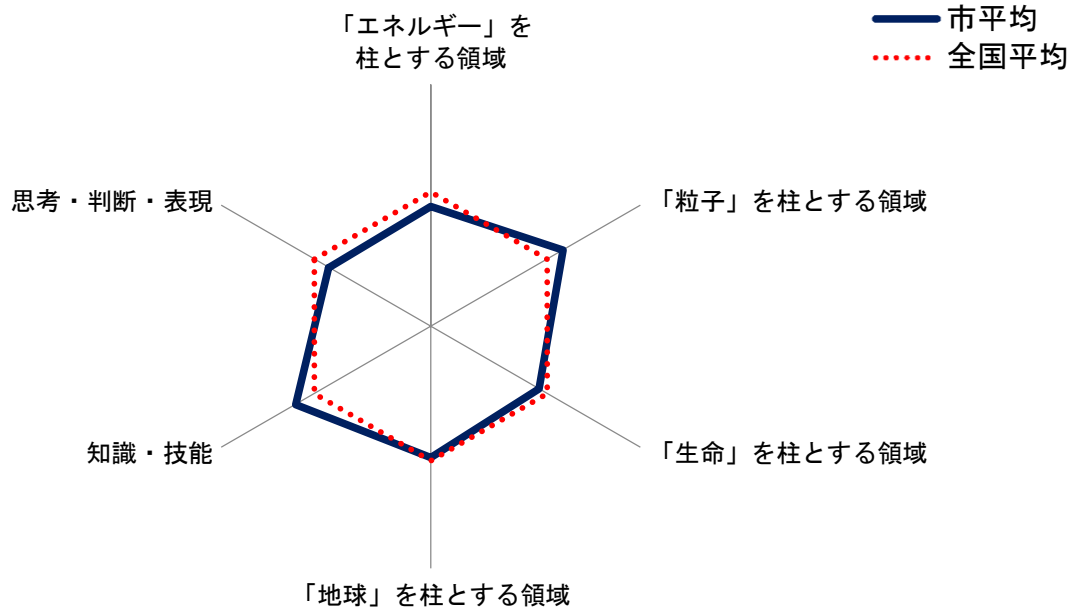


【算数】

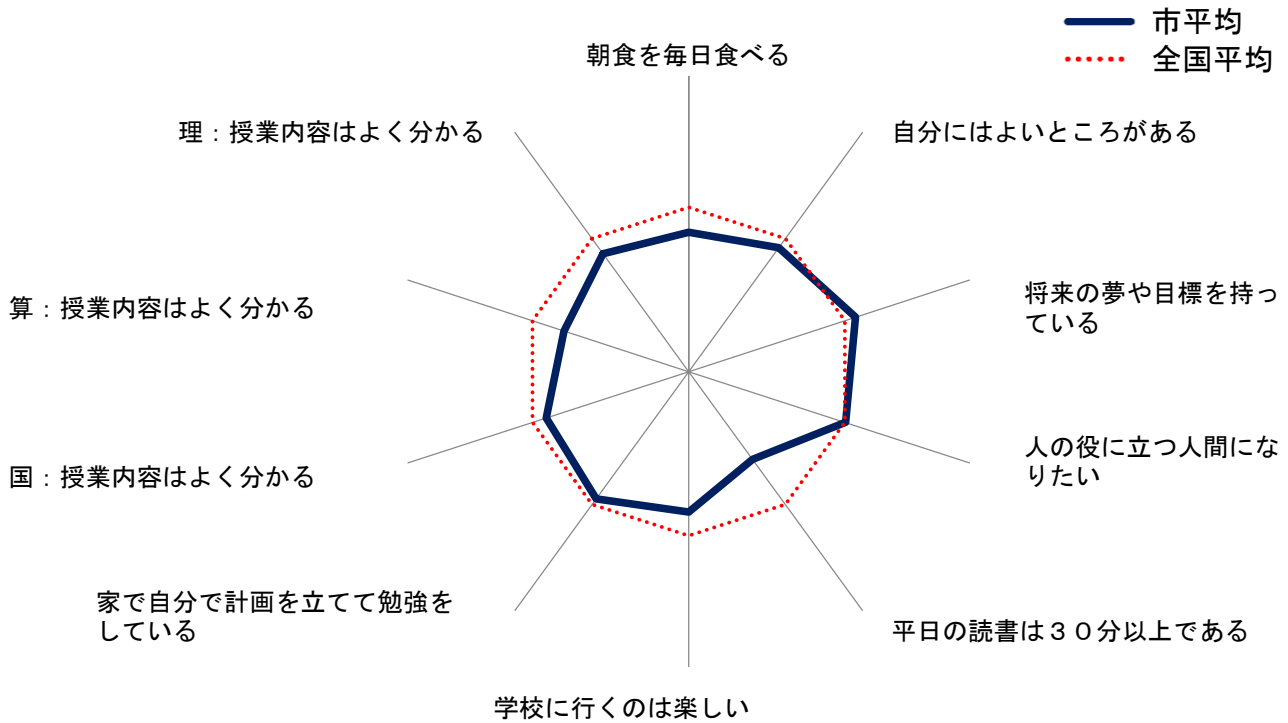


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、理科は、「知識・技能」の項目が全国平均を上回り、「思考・判断・表現」の項目が下回る一方、算数は「知識・技能」の項目が全国平均を下回り、「思考・判断・表現」の項目が上回っており、学力の定着と向上に向け、児童一人一人の課題をしっかりと分析することにより、各教科における知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が引き続き望まれる。

児童質問紙調査では、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」の項目が前回調査と比べて改善傾向にある一方、「朝食を毎日食べる」「平日の読書は30分以上である」「学校に行くのは楽しい」などの項目が全国平均を下回っており、一人一人の児童へのきめ細かな指導により、基本的な生活習慣や読書に親しむ習慣づくりに向けた取組を引き続き推進することが望まれる。